

アルビクス・映像/音声エラー検出装置 VAD-200HD

Rev.1.8

特 長

HD - SDI信号入力に対応した映像/音声エラー検出装置です。
VAD - 200では、不可能であった音声の比較エラー検知に対応しています。
その他基本機能はVAD - 200と同じです。

仕 様

送出側映像・音声入力信号

入力信号数 : 1系統
信号形式 : 映像 : SD-SDI SMPTE259M - C 480i[D1]
HD-SDI SMPTE292M 1080i
: 音声 : エンベデッドオーディオ 48KHz 16bit 4ch / 8ch

入力接栓 : BNCコネクタ

IRD側映像・音声入力信号

映像入力信号数 : 1系統
映像信号形式 : NTSC、アナログVBS
対応ダウンコンバート方式 : サイドカット、スクイーズ、レターボックス
ARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、稼動中にダウンコンバート方式が
変化した場合の自動連動に対応

映像入力接栓 : BNCコネクタ
音声入力信号数 : 2系統(主音L、主音R、副音L、副音R)
音声信号形式 : アナログ アンバランスステレオ2ch
対応音声出力方式 : Lt/Rt出力、L/R出力、L/R/C/LFE/LS/RS ダウンミックス出力
ARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、稼動中に音声出力方式が
変化した場合の自動連動に対応

入力接栓 : RCAピンジャック

映像モニタ出力信号

出力信号数 : 送出側ディレイ・IRD側 各1系統
信号形式 : NTSC、アナログVBS
出力接栓 : BNCコネクタ

映像調整用比較映像モニタ出力信号

出力信号数 : 2系統
信号形式 : NTSC、アナログVBS
出力接栓 : BNCコネクタ

音声モニタ出力信号

出力信号数 : 送出側ディレイ 2系統
IRD側 2系統
信号形式 : アナログ アンバランスステレオ
入力接栓 : RCAピンジャック

外部通知

通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
プロトコル : SNMP
コネクタ : RJ - 45モジュラ

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

【型番】

VAD-200HD

アルビクス株式会社

【整理番号】

外形寸法 : W430 × H44 × D630 mm (コネクタ等の突起部を含まず)
 質量 : 約 8 kg
 電源電圧 : 100V ± 10% AC 50 / 60Hz
 消費電力 : 約 50 W
 使用温度 : 5 ~ 40

送出側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(HD / SD / 同期断) 検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像クローズドキャプション検出(VBI字幕、ANC字幕)
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: 主音L、主音R、副音L、副音R
 5.1/5.1+S: L、R、C、LFE、LS、RS、Lt、Rt
- ・音声逆相
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main) - R(Main)間及びL(Sub) - R(Sub)間
 5.1+S: L - R(ダウンミックス)間及びLt - Rt間
- ・1kHz音声検出
 M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M: L(Main)、R(Main)、L(Sub)、R(Sub)
 5.1/5.1+S: L - R(ダウンミックス)、Lt - Rt

エンベデッドオーディオチャンネル割り当て

オーディオグループ	ch	M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M	5.1/5.1+S
1	1	L(Main)/Mono1	L
	2	R(Main)/Mono2	R
	3	L(Sub)/Mono3	C
	4	R(Sub)/Mono4	LFE
2	5	-----	LS
	6	-----	RS
	7	-----	Lt
	8	-----	Rt

IRD側映像・音声エラー検知項目

- ・映像状態(正常 / 同期断) 検知
- ・映像ベースフリーズ
- ・映像ベース黒味
- ・映像ベースレベル異常
- ・映像クローズドキャプション検出(VBI字幕)
- ・映像ウィンドウフリーズ
- ・映像ウィンドウ黒味
- ・音声レベル異常(無音 / レベル高 / レベル低)
- ・音声逆相 主音L - 主音R間、副音L - 副音R間
- ・1kHz音声検出 主音L、主音R、副音L、副音R

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-200HD	アルビクス株式会社	【整理番号】
-------------------	-----------	--------

比較エラー検知項目

- ・映像比較 一致 / 不一致
- ・音声比較 一致 / 不一致

比較ch系統	比較ペア	M/2M/3M/4M/S/2S/S+M/S+2M	5.1/5.1+S
系統1	L	L(Main)/Mono1	ダウンミックス音声の Lch 側
		IRD出力L(Main)	IRD出力L(Main)
	R	R(Main)/Mono2	ダウンミックス音声の Rch 側
		IRD出力R(Main)	IRD出力R(Main)
系統2	L	L(Sub)/Mono3	Lt
		IRD出力L(Sub)	IRD出力L(Sub)
	R	R(Sub)/Mono4	Rt
		IRD出力R(Sub)	IRD出力R(Sub)

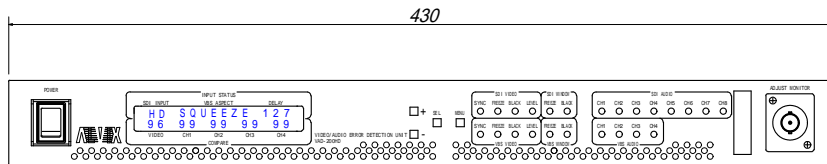
遅延量計測機能 : 送出側に対するIRD側の遅延量を計測

- ・映像: 1 ~ 160フレーム
- ・音声: 1 ~ 150フレーム

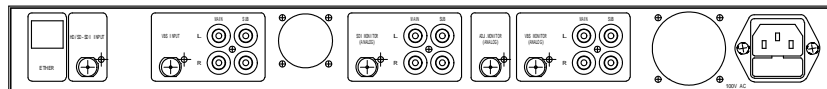
信号遅延能力

- ・映像: 1 ~ 160フレーム(最大遅延量: 約5.3秒)
- ・音声: 1 ~ 150フレーム(最大遅延量: 約5.1秒)

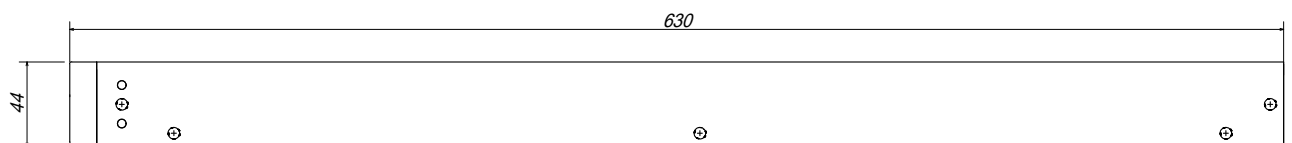
外 観 図



前面



背面



側面

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

【型番】 VAD-200HD	アルビクス株式会社	【整理番号】
-------------------	-----------	--------

SNMP MIB 構造

iso.org.dod.internet.private.enterprise.honko.vad200hd (1.3.6.1.4.1.19892.4) より以下を示す。

下表の“入力”は送出側、“出力”はIRD側

項目1	項目2	項目3	項目4	値	種別	データ型	内容	対応オペレーション
systemVAD(1)	version(1)	farmVer(1)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		hardVer(2)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	ハードウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
		snmpFarmVer(3)		000 ~ 999	読み込み	OCTET STRING	SNMP制御部ファームウェアのバージョン バージョンが1.00のとき、100。 1.01のとき101となります。	GetRequestに対応
	time(2)			yy:yy:mm:dd:hh:mm:ss:xx	読み書き	DateAndTime	VA - DETの現在日時 電源投入時は1年1月1日0時0分0秒にリセットされるので、マネージャーから現在時刻を設定する必要があります。 (xxの値について) xxの値は、00Hexを設定してください。 xxの値を設定した場合、正常に設定完了しますが、VA内部ではxxの値は設定しません。(内部は00Hex 固定) また、xxの値を省略した7Byteでも設定可能です。 SetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、設定された値をVAより送信します。 但しVA内部ではxxの値は設定しません。 GetRequestに対する、GetResponseの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。 Trapの時、xxの値は、00Hex 固定でVAより送信します。	GetRequest・SetRequestに対応 Trap通知時、先頭に付加されます。
status(2)				0: 正常 1: 電源異常 2: 起動中 3: デイレイ値計測中	読み込み	INTEGER	VA - DETステータス 正常: エラー検知を実行中です。 電源異常: 電源電圧が異常です。 起動中: VA - DETの初期化処理中です。 デイレイ値計測中: 映像比較デイレイを計測中です。	GetRequest・Trapに対応

measure(3)	delay(1)	videoDelay(1)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	映像比較ディレイ値 SDI入力(送出側ビデオ信号)とVBS入力(IRD側ビデオ信号)の遅延量です。 遅延量はフレーム数で表されます。	GetRequestに対応
		audioDelay(2)		000 ~ 128	読み込み	INTEGER	音声比較ディレイ値 SDI入力(送出側ビデオ信号)とVBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号の遅延量です。 遅延量はフレーム数に換算された値で表されます。	GetRequestに対応
	inputAudio(2)	ch1In (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch1レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベルです。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequestに対応
		ch2In (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch2レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3In (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch3レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4In (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch4レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch5In (5)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch5レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch6In (6)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch6レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch7In (7)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch7レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch8In (8)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	入力音声ch8レベル SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベルです。	GetRequestに対応
	outputAudio(3)	ch1Out (1)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch1レベル VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch1(主音L)のレベルです。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequestに対応
		ch2Out (2)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch2レベル VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch2(主音R)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch3Out (3)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch3レベル VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch3(副音L)のレベルです。	GetRequestに対応
		ch4Out (4)		000 ~ 060	読み込み	INTEGER	出力音声ch4レベル VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch4(副音R)のレベルです。	GetRequestに対応
	compare(4)	videoDisagreement(1)		000 ~ 096	読み込み	INTEGER	映像比較の不一致ブロック数 0 = 完全一致、96 = 完全不一致	GetRequestに対応
		audioDisagreementLmain(2)		000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較Lch(主音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関係数無し	GetRequestに対応
		audioDisagreementRmain(3)		000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較Rch(主音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関係数無し	GetRequestに対応
		audioDisagreementLsub(4)		000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較Lch(副音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関係数無し	GetRequestに対応
		audioDisagreementRsub(5)		000 ~ 100	読み込み	INTEGER	音声比較Rch(副音)の相関値 {100-(相関係数×100)} 000 = 完全一致、100 = 相関係数無し	GetRequestに対応

unitSetting(4)	windowPoint(1)	windowPointX1(1)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointX2(2)		000 ~ 720	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 X2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の水平終了座標です。 (水平終了座標 - 水平開始座標) > 100である必要があります。(水平終了座標 - 水平開始座標) 100の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointY1(3)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y1 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直開始座標です。	GetRequest・SetRequestに対応	
		windowPointY2(4)		000 ~ 485	読み書き	INTEGER	ウィンドウ座標 Y2 WINDOW(子画面)範囲設定の、モニタ画面上の垂直終了座標です。 (垂直終了座標 - 垂直開始座標) > 30である必要があります。(垂直終了座標 - 垂直開始座標) 30の場合、WINDOW設定は無効(設定OFF)となります。	GetRequest・SetRequestに対応	
	audioLevel(2)	audiolnCh1Thres(1)	Low1ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル低検知設定です。 単位は - dBで、読みが30の場合、レベルは - 30dBです。	GetRequest・SetRequestに対応
			High1ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Slent1ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch1 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(L)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh2Thres(2)	Low2ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High2ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch2(R)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Slent2ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch2 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch1(R)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh3Thres(3)	Low3ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High3ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Slent3ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch3 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch3(C)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh4Thres(4)	Low4ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High4ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Slent4ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch4 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch4(LFE)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh5Thres(5)	Low5ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			High5ln(2)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
			Slent5ln(3)		000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch5 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch5(LS)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
		audiolnCh6Thres(6)	Low6ln(1)		000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応
High6ln(2)			000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
Slent6ln(3)			000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch6 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch6(RS)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		

unitSetting(4)	audioLevel(2)	audioInCh7Thres(7)	Low7In(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High7In(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent7In(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch7 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch7(Lt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		audioInCh8Thres(8)	Low8In(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 レベル低 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High8In(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 レベル高 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent8In(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	入力音声 ch8 無音 しきい値 SDI入力(送出側ビデオ信号)の音声信号ch8(Rt)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		audioOutCh1Thres(9)	Low1Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 レベル低 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch1(主音L)のレベル低検知設定です。 単位は -dBで、読みが30の場合、レベルは -30dBです。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High1Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 レベル高 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch1(主音L)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent1Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch1 無音 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch1(主音L)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		audioOutCh2Thres(10)	Low2Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 レベル低 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch2(主音R)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High2Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 レベル高 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch2(主音R)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent2Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch2 無音 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch2(主音R)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		audioOutCh3Thres(11)	Low3Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 レベル低 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch3(副音L)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High3Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 レベル高 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch3(副音L)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent3Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch3 無音 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch3(副音L)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		audioOutCh4Thres(12)	Low4Out(1)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 レベル低 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch4(副音R)のレベル低検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			High4Out(2)	000 ~ 050	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 レベル高 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch4(副音R)のレベル高検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
			Silent4Out(3)	000 ~ 060	読み書き	INTEGER	出力音声 ch4 無音 しきい値 VBS入力(IRD側ビデオ信号)の音声信号ch4(副音R)の無音検知設定です。	GetRequest・SetRequestに対応		
		videoThresholdCompare(3)	videoCompare1(1)		000 ~ 004	読み書き	INTEGER	画像比較 しきい値1 映像比較前のフィルタ処理を切り替えます。 設定値が大きいくほど比較エラーを検知しやすくなります。 標準設定は3です。	GetRequest・SetRequestに対応	
				videoCompare2(2)		000 ~ 095	読み書き	INTEGER	画像比較 しきい値2 比較エラーとする不一致ブロック数を設定します。 設定値以上のエラーブロックがある場合に比較エラーとします。	GetRequest・SetRequestに対応
			sizeAdjust(4)	hSize(1)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定 SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
				vSize(2)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定 SDI入力(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応

unitSetting(4)	sizeAdjust(4)	hPosition(3)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定 SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		vPosition(4)		000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定 SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		irdDownConvert(5)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	VBS入力(IRD側)に接続されるチューナーの、 HD SD ダウンコンバート処理の方式を指定します。 0:サイドカット 1:スクイーズ 2:レターボックス(16:9) 3:レターボックス(14:9)	GetRequest・SetRequestに対応
	audioThresholdCompare(5)	audioCompare1(1)		000 ~ 100	読み書き	INTEGER	音声比較 しきい値 音声比較の相関値が設定値を上回った場合に不一致とします。	GetRequest・SetRequestに対応
		audioCompareCh(2)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	音声比較ch設定 0:送出側 ch1/ch2(主音 L/R)と、IRD側主音 Lch/Rch を比較します。 1:送出側 ch7/ch8(副音 Lt/Rt)と、IRD側副音 Lch/Rch を比較します。 2:音声比較OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		audioInMixMain(3)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	VBS入力(IRD側)に接続されるチューナーの 主音 Lch/Rch から出力される音声の生成方式を指定します。 0:ch1/ch2(主音 L/R)の音声を Lch/Rch から出力 1:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)の音声を Lch/Rch から出力 2:ch1 ~ ch6(L/R/C/LFE/LS/RS)から算出したダウンミックス音声を Lch/Rch から出力	GetRequest・SetRequestに対応
		audioInMixSub(4)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	VBS入力(IRD側)に接続されるチューナーの 副音 Lch/Rch から出力される音声の生成方式を指定します。 0:ch1/ch2(主音 L/R)の音声を Lch/Rch から出力 1:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)の音声を Lch/Rch から出力 2:ch1 ~ ch6(L/R/C/LFE/LS/RS)から算出したダウンミックス音声を Lch/Rch から出力	GetRequest・SetRequestに対応
	otherSetting(6)	inputAudioDetect(1)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	入力音声検知ON / OFF 0:全ch検知ON 1:ch1/ch2(主音 L/R)のみ検知ON 2:ch7/ch8(副音 Lt/Rt)のみ検知ON 3:検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		outputAudioDetect(2)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	出力音声検知ON / OFF 0:全ch検知ON 1:ch1/ch2(主音 L/R)のみ検知ON 2:ch3/ch4(副音 L/R)のみ検知ON 3:検知OFF	GetRequest・SetRequestに対応
		windowDisp(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	window範囲表示ON / OFF 0:OFF 1:モニタ画面上にwindow設定範囲を表示します。	GetRequest・SetRequestに対応
		videoDelay(4)		000 ~ 128 または 998 ~ 999	読み書き	INTEGER	映像ディレイ設定 0 ~ 128:設定したフレーム数がディレイ値となります。 998:音声遅延量計測基準自動設定 999:映像遅延量計測基準自動設定	GetRequest・SetRequestに対応
		readANCInfo(5)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	局間情報読み取りON / OFF 0:OFF SDI入力映像内の局間情報を無視し、irdDownConvert(5)、audioInMixMain(3)、 audioInMixSub(4)でダウンコンバート / IRD 音声生成方式を設定します。 1:ON SDI入力映像内のARIB STD-B39形式の局間情報を読み取り、 局間情報に連動してダウンコンバート / IRD 音声生成方式を設定します。 局間情報が無い場合は最後に読み取った局間情報の設定を継続し、 本体起動時から一度も局間情報が無い場合は ダウンコンバート方式 = サイドカット、IRD 音声生成方式 = ch1/ch2 を設定します。	GetRequest・SetRequestに対応

unitSetting(4)	otherSetting(6)	resetDelayFrame(6)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像 / 音声ディレイ値の強制再計測 0: 映像 / 音声ディレイ量の強制再計測処理を行わず、現状の計測結果を保持します。 (本項目を GET リクエストで読み出した場合は、常に 0 が読み出されます) 1: 映像 / 音声ディレイ量の計測結果を全てリセットし、再計測処理を開始します。 VAD に入力される局内信号 / IRD 信号が外部で切り替わる場合は、切り替わり時に本項目に 1 を SET して映像 / 音声ディレイ量を再計測する必要があります。	GetRequest・SetRequestに対応 (GetRequest時には常に 0 を返す)	
		videoBlackArea(7)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出面積 0: 映像の黒味面積が95%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 1: 映像の黒味面積が96%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 2: 映像の黒味面積が97%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。 3: 映像の黒味面積が98%以上の状態を映像黒味エラーとして通知します。	GetRequest・SetRequestに対応	
		videoBlackDetect(8)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像黒味エラー検出条件 0: フリーズの状態(映像の動きの有無)とは無関係に、映像黒味の状態のみで黒味エラーを判定します。 1: 映像黒味かつフリーズ状態(映像に動きが無い)の場合のみを黒味エラーとします。	GetRequest・SetRequestに対応	
	sizeAdjustVFD(7)	sideCutVFD(1)	hSizeSC(1)	hSizeSC(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=サイドカット) SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeSC(2)	vSizeSC(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=サイドカット) SDI入力(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionSC(3)	hPositionSC(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=サイドカット) SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19,...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionSC(4)	vPositionSC(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=サイドカット) SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19,...)と映像の位置を上を移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		squeezeVFD(2)	hSizeSQ(1)	hSizeSQ(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ) SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeSQ(2)	vSizeSQ(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=スクイーズ) SDI入力(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionSQ(3)	hPositionSQ(3)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=スクイーズ) SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と映像の位置を左に移動し、値を大きくする(17,18,19,...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
vPositionSQ(4)			vPositionSQ(4)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=スクイーズ) SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と映像の位置を下に移動し、値を大きくする(17,18,19,...)と映像の位置を上を移動します。	GetRequest・SetRequestに対応	
lbox16VFD(3)	hSizeLB16(1)	hSizeLB16(1)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=16:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と水平サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応		
	vSizeLB16(2)	vSizeLB16(2)	000 ~ 031	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=16:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13,...)と垂直サイズを縮小し、値を大きくする(17,18,19,...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応		

unitSetting(4)	sizeAdjustVFD(7)	lbox16VFD(3)	hPositionLB16(3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=16:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionLB16(4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=16:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		lbox14VFD(4)	hSizeLB14(1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像画角=14:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vSizeLB14(2)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直サイズ設定(入力映像画角=14:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の垂直サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と垂直サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と垂直サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
			hPositionLB14(3)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像画角=14:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
			vPositionLB14(4)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像画角=14:9 レターボックス) SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応
		(5)					Reserve	
		(6)					Reserve	
		(7)					Reserve	
		(8)					Reserve	
		(9)					Reserve	
		(10)					Reserve	
		(11)					Reserve	
		(12)					Reserve	
		sdVFD(13)	hSizeSD(1)	0 0 0 ~ 0 3 1	読み書き	INTEGER	入出力映像 水平サイズ設定(入力映像=SD-SDI) SDI入力(送出側)の水平サイズを調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と水平サイズを縮小し、 値を大きくする(17,18,19...)と水平サイズを拡大します。	GetRequest・SetRequestに対応
(2)						Reserve		
hPositionSD(3)	0 0 0 ~ 0 3 1		読み書き	INTEGER	入出力映像 水平位置設定(入力映像=SD-SDI) SDI入力(送出側)の水平位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を左に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を右に移動します。	GetRequest・SetRequestに対応		
vPositionSD(4)	0 0 0 ~ 0 3 1		読み書き	INTEGER	入出力映像 垂直位置設定(入力映像=SD-SDI) SDI入力(送出側)の垂直位置を調整します。 標準値(無調整)=16で、値を小さくする(15,14,13...)と映像の位置を下に移動し、 値を大きくする(17,18,19...)と映像の位置を上移動します。	GetRequest・SetRequestに対応		

unitSetting(4)	audioMaskSettingVFD(8)	audioErrorMaskVFD(1)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声エラーマスク設定 (VFD メニュー「Audio Error Mask」) 音声アラーム機能を使用した場合、未使用の音声 ch に関しては常に正常と見なしてエラー TRAP を出力しません。 0: 音声エラーマスク機能を使用しない 1: 音声エラーマスク機能を使用する	GetRequest・SetRequestに対応
		(2)					Reserve	
		useSubIRDVFD(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	副音用 IRD の有無設定 (VFD メニュー「Use Sub IRD」) 0: 副音用 IRD あり 1: 副音用 IRD 無し	GetRequest・SetRequestに対応
		defaultAudioVFD(4)		000 ~ 003	読み書き	INTEGER	音声エラーマスク時のデフォルト音声モード設定 (VFD メニュー「Default Audio」) 0 ~ 3: デフォルト音声モード設定 useSubIRDVFD(3)の設定によって内容が異なります (別表参照)	GetRequest・SetRequestに対応
		setMaskVFD(5)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	素材途中で局間情報が無くなった時のマスク設定 (VFD メニュー「Mask Set(No ANC)」) 0: 最後に読み取った音声モードを保持する 1: デフォルト音声モードに戻る 2: 局間情報の有無に関係なく defaultAudioVFD(4)で設定したデフォルト音声モードに従ってマスクする	GetRequest・SetRequestに対応
		mask51AudioVFD(6)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	音声モード=5.1ch 時の SDI 側 (送出側) 音声 ch1 ~ ch6 のエラーマスク設定 (VFD メニュー「5.1ch Audio Mask」) 0: ch1 ~ ch6 をマスクしない 1: ch3 ~ ch6 のみマスクする (ch1 ~ ch2 はマスクしない) 2: ch1 ~ ch6 を全てマスクする	GetRequest・SetRequestに対応
	otherSettingVFD(9)	sizePosSourceVFD(1)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	画面サイズ / 位置設定の読み取り元設定 (VFD メニュー「Size/Pos Source」) 0: sizeAdjustVFD(7)または正面 VFD メニューで設定した画面サイズ / 位置設定を比較画面に反映させる 1: sizeAdjust(4)hSize(1) ~ sizeAdjust(4)vPosition(4) で設定した画面サイズ / 位置設定を比較画面に反映させる	GetRequest・SetRequestに対応
		audioErrorBarVFD(2)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声比較バー ON/OFF 設定 (VFD メニュー「Audio Error Bar」) 0: ADJUST MONITOR 画面右下に音声比較バーを表示する 1: ADJUST MONITOR 画面右下に音声比較バーを表示しない	GetRequest・SetRequestに対応
		setANCInfoVFD(3)		000 ~ 002	読み書き	INTEGER	局間情報連動設定 (VFD メニュー「V-ANC Set」) 0: 画角 / 音声モードとも局間情報に連動する 1: 画角のみ局間情報に連動し、音声モードは audioInMixMain(3) / audioInMixSub(4) の設定を使用する 2: 音声モードのみ局間情報に連動し、画角は irdDownConvert(5)の設定を使用する	GetRequest・SetRequestに対応
	errNotice(15)			000 ~ 001	読み書き	INTEGER	trap による通知 0: OFF 1: ON エラー発生時のマスクタイム値をクリアします	GetRequest・SetRequestに対応

: defaultAudioVFD(4)の設定値に対応するデフォルト音声モードは、useSubIRDVFD(3)の設定値（副音用 IRD の有無）によって下記の通りになります。

・ useSubIRDVFD(3)=0（副音用 IRD あり）

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~4ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~2ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~4ch使用

・ useSubIRDVFD(3)=1（副音用 IRD 無し）

defaultAudioVFD(4)の設定値	デフォルト音声モード
0	入力 1~2ch使用 / 出力 1~2ch使用
1	入力 1~4ch使用 / 出力 1~2ch使用
2	入力 1~6ch使用 / 出力 1~2ch使用
3	入力 1~8ch使用 / 出力 1~2ch使用

: unitSetting(4)内での“主音”“副音”の定義は、ARIB STD-B39 形式の局間情報の内容によって下記の通りになります。

局間情報の音声モード	主音	副音
2M/4M/S/2S/S+2M(1)	ch1/ch2	ch3/ch4
M	ch1/ch1(2)	ch3/ch4
3M/S+M	ch1/ch2	ch3/ch3(2)
5.1/5.1+S	ch1(DM)/ch2(DM) (3)	ch7/ch8

- (1) 本体起動時から一度も局間情報が無い場合、主音=ch1/ch2、副音=ch3/ch4 を設定します
- (2) ch1/ch1: 音声 ch1 の内容を音声 ch2 にコピーし、両 ch に同じ音声を出力
ch3/ch3: 音声 ch3 の内容を音声 ch4 にコピーし、両 ch に同じ音声を出力
- (3) DM: ダウンミックス

errTrap(5)	input(1)	inVideo(1)	baseInStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ベースステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			windowInStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 3	読み込み	INTEGER	入力映像ウィンドウステータス 0:正常 1:黒味 2:フリーズ 3:レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			inClosedCaption(3)	0 0 0 ~ 0 0 1	読み込み	INTEGER	入力映像クローズドキャプションステータス 0:無し 1:VBIクローズドキャプションを検出 2:ANCクローズドキャプションを検出	GetRequest・Trapに対応
			inSync(4)	0 0 0 ~ 0 0 2	読み込み	INTEGER	入力映像の信号状態 0:SD - SDI 1:HD - SDI 2:同期断	GetRequest・Trapに対応
	inAudio(2)		ch1InStatus(1)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch1(L)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch2InStatus(2)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch2(R)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch3InStatus(3)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch3(C)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch4InStatus(4)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch4(LFE)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch5InStatus(5)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch5(LS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch6InStatus(6)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch6(RS)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch7InStatus(7)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch7(Lt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch8InStatus(8)	0 0 0 ~ 0 0 5	読み込み	INTEGER	入力音声ch8(Rt)ステータス 0:正常 1:無音 2:レベル低 3:レベル高	GetRequest・Trapに対応

errTrap(5)	input(1)	inOther(3)	inAudioCh12Phase(1)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 L/R フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応
			inAudioCh78Phase(2)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 Lt/Rt フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応
			inAudio1khz(3)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	入力音声 1 kHz 0: なし 1: 検知	GetRequest・Trapに対応
		inReserve(4)	inReserve1(1)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve2(2)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve3(3)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			inReserve4(4)	999: 固定	読み込み	INTEGER	入力関係予備 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
	output(2)	outVideo(1)	baseOutStatus(1)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力映像ベースステータス 0: 正常 1: 黒味 2: フリーズ 3: レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			windowOutStatus(2)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力映像ウィンドウステータス 0: 正常 1: 黒味 2: フリーズ 3: レベル異常	GetRequest・Trapに対応
			outClosedCaption(3)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力映像クローズドキャプションステータス 0: 無し 1: 検出	GetRequest・Trapに対応
			outSync(4)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力映像の信号状態 0: 正常 1: 同期断	GetRequest・Trapに対応
		outAudio(2)	ch1OutStatus(1)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch1(主音 L)ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch2OutStatus(2)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch2(主音 R)ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch3OutStatus(3)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch3(副音 L)ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
			ch4OutStatus(4)	000 ~ 003	読み込み	INTEGER	出力音声 ch4(副音 R)ステータス 0: 正常 1: 無音 2: レベル低 3: レベル高	GetRequest・Trapに対応
		outOther(3)	outAudioCh12Phase(1)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 主音 L/R フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応

errTrap(5)	output(2)	outOther(3)	outAudioCh34Phase(2)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 副音 L/R フェーズ 0: 正常 1: 逆相	GetRequest・Trapに対応
			outAudio1khz(3)	000 ~ 001	読み込み	INTEGER	出力音声 1 kHz 0: なし 1: 検知	GetRequest・Trapに対応
		outReserve(4)	outReserve1(1)	999: 固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備 1 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			outReserve2(2)	999: 固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備 2 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			outReserve3(3)	999: 固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備 3 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
			outReserve4(4)	999: 固定	読み込み	INTEGER	出力関係予備 4 (未使用)	GetRequest・Trapに対応
		inout(3)	both(1)	videoCompare(1)	000 ~ 096	読み込み	INTEGER	入出力映像比較 0: 一致 エラーブロック数が画像比較しきい値 2 を越えない場合は一致とします。 1 ~ 96: 不一致 エラーブロック数が画像比較しきい値 2 を越える場合は不一致とし、そのブロック数を通知します。
	audioCompareLmain(2)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較 L (主音) 0: 一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100: 不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応
	audioCompareRmain (3)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較 R (主音) 0: 一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100: 不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応
	audioCompareLsub(4)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較 L (副音) 0: 一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100: 不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応
	audioCompareRsub (5)			000 ~ 100	読み込み	INTEGER	入出力音声比較 R (副音) 0: 一致 相関値が音声比較しきい値を越えない場合は一致とします。 1 ~ 100: 不一致 相関値が音声比較しきい値を越える場合は不一致とし、その相関値を通知します。	GetRequest・Trapに対応

errTrap は状態に変化があった場合に通知されます。

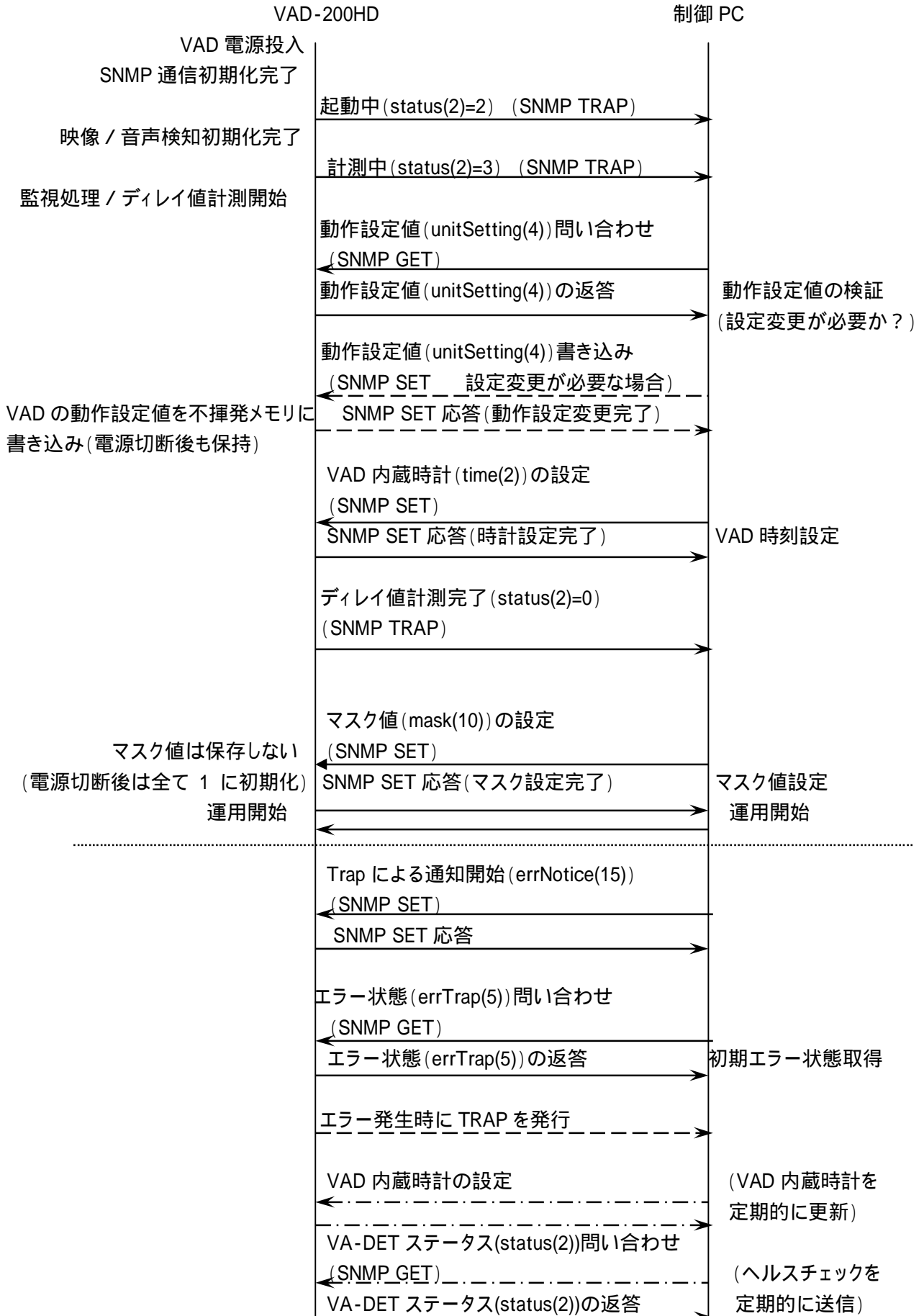
検知時間000 = OFF、001 = 本体で1s 見ているため本体より受信後即 TrapSend、002以上 = 本体より受信し(検知時間 - 1)s 継続した場合に TrapSend

MaskSetting(10)	vadSts(1)			000 ~ 999	読み書き	INTEGER	VA-DET ステータス 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
	inVideo(2)	inVbaseStatus(1)	inbaseBlack(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ベース 黒味 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
			inbaseFreeze(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ベース フリーズ 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
			inbaseLevelErrV(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ベース レベル異常 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
		inVwindowStatus(2)	inwinBlack(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ウィンドウ 黒味 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
			inwinFreeze(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ウィンドウ フリーズ 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
			inwinLevelErrV(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力映像ウィンドウ 映像レベル異常 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
		inClosedCaption(3)			000 ~ 001	読み書き	INTEGER	入力映像クロズドキャプションステータス 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
	inSync(4)			000 ~ 001	読み書き	INTEGER	入力映像信号状態 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応	
	inAudio(3)	inCh1(1)	inCh1Silent(1)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch1(L) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh1LevelLow(2)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch1(L)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh1LevelHigh(3)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch1(L)レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh2(2)	inCh2Silent(1)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch2(R) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh2LevelLow (2)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch2(R)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh2LevelHigh(3)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch2(R) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh3(3)	inCh3Silent(1)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch3(C) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh3LevelLow(2)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch3(C)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh3Level High(3)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch3(C) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh4(4)	inCh4Silent (1)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch4(LFE) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh4LevelLow(2)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch4(LFE)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh4Level High(3)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch4(LFE) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh5(5)	inCh5Silent (1)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch5(LS) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh5LevelLow(2)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch5(LS) レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh5Level High(3)		000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch5(LS) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応

MaskSetting(10)	InAudio(3)	inCh6(6)	inCh6Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch6(RS) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh6LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch6(RS) レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh6Level High(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch6(RS) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh7(7)	inCh7Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch7(Lt) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh7LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch7(Lt) レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh7Level High(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch7(Lt) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		inCh8(8)	inCh8LevelErr(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch8(Rt) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh8LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch8(Rt) レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh8Level High(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声ch8(Rt) レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		InOther(9)	inCh12Phase(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声 L/R 逆相 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			inCh78Phase (2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声 Lt/Rt 逆相 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			in1khz(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	入力音声 1kHz 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
	outVideo(4)	outVbaseStatus(1)	outbaseBlack(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ベース 黒味 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outbaseFreeze(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ベース フリーズ 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outbaseLevelErrV(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ベース レベル異常 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outVwindowStatus(2)	outwinBlack(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ウィンドウ 黒味 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outwinFreeze(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ウィンドウ フリーズ 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outwinLevelErrV(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力映像ウィンドウ 映像レベル異常 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outClosedCaption(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	出力映像クロズドキャプションステータス 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outSync(4)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	出力映像信号状態 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応

MaskSetting(10)	outAudio(5)	outCh1(1)	outCh1Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch1(主音 L) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh1LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch1(主音 L) レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh1LevelHigh(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch1(主音 L)レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outCh2(2)	outCh2Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch2(主音 R) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh2LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch2(主音 R)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh2LevelHigh(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch2(主音 R)レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outCh3(3)	outCh3Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch3(副音 L) 無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh3LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch3(副音 L)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh3LevelHigh(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch3(副音 L)レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outCh4(4)	outCh4Silent(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch4(副音 R)無音 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh4LevelLow(2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch4(副音 R)レベル低 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh4LevelHigh(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声ch4(副音 R)レベル高 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		outOther(5)	outCh12Phase(1)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声 主音 L/R 逆相 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			outCh34Phase (2)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声 副音 L/R 逆相 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
			out1khz(3)	000 ~ 999	読み書き	INTEGER	出力音声 1kHz 検知時間(s)	GetRequest・SetRequestに対応
	Compare(6)	cmpVideo(1)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	映像比較エラー 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		cmpALmain(2)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声比較(主音 L)エラー 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		cmpARmain(3)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声比較(主音 R) エラー 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		cmpALsub(4)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声比較(副音 L) エラー 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応
		cmpARsub(5)		000 ~ 001	読み書き	INTEGER	音声比較(副音 R) エラー 検知有無(s)	GetRequest・SetRequestに対応

起動シーケンス案)

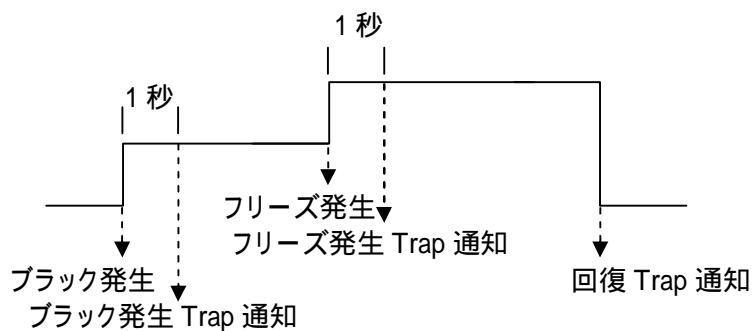


マスク処理

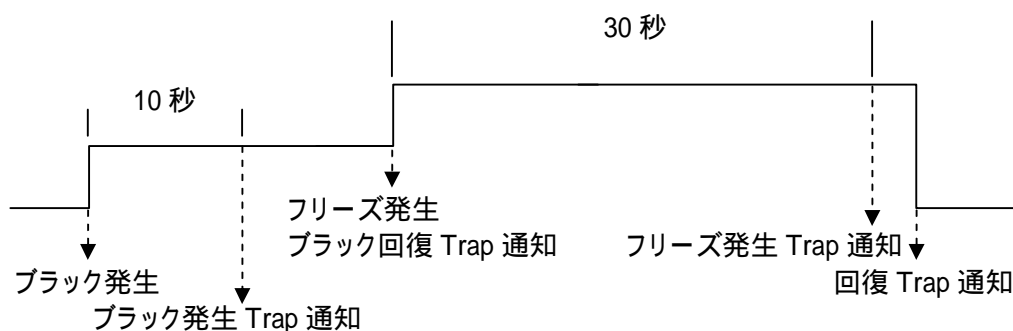
- ・Trap 時刻
エラー発生からマスク時間経過後の時刻を通知します。
- ・運用開始中にマスク値を変更
変更したマスク値が有効になるのは、変更後に発生したエラーからになります。
- ・同一 OID 内でエラー状態が変化した場合の処理

例) 入力映像ベースステータス (errtrap(5).input(1).inVideo(1).baseInStatus(1)) が
正常 ブラック フリーズ 正常に変化

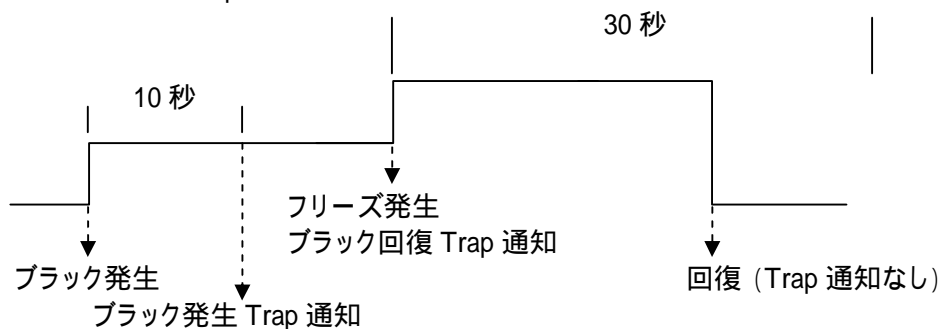
マスク値: ブラック=1 秒、フリーズ=1 秒
ブラック フリーズの状態変化を通知するのみで、ブラックの回復 Trap は通知しない



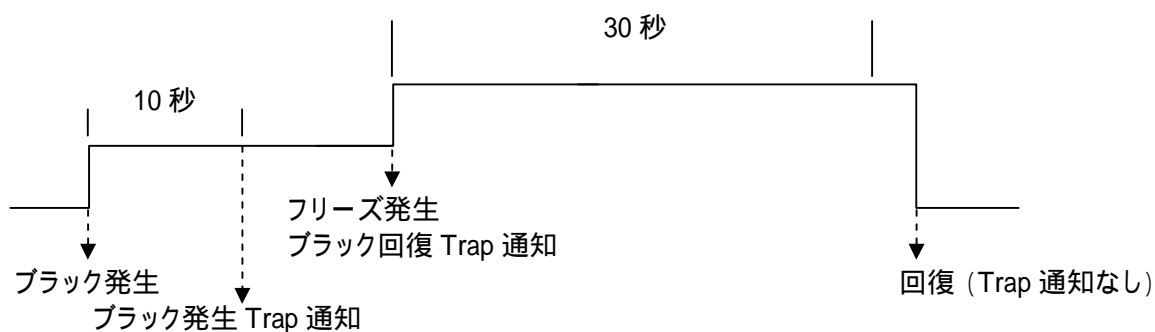
マスク値: ブラック=10 秒、フリーズ=30 秒
ブラック フリーズの状態変化時にブラックの回復 Trap を通知する



マスク値: ブラック=10 秒、フリーズ=30 秒経過前に回復
 ブラック フリーズの状態変化時にブラックの回復 Trap を通知する
 フリーズ発生時の Trap 通知なし



マスク値: ブラック=10 秒、フリーズ=0 秒(フリーズの Trap 通知なし)
 ブラック フリーズの状態変化時にブラックの回復 Trap を通知する



Rev	内容	日付	担当
(暫定版)	暫定版として新規作成	2007/4/2	山田
1.0	<ul style="list-style-type: none"> ・オーディオチャンネル割付けの Ch 名表記を変更。 ・ARIB STD-B39 形式の局間情報とダウンコンバート / 音声出力方式の連動に対応し、局間情報読み取り ON/OFF の MIB 項目 (readANCInfo(5)) を追加。 ・音声ダウンミックス方式 音声出力方式に表記を変更。 	2007/5/30	山田
1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・IRD 音声入力をステレオ 2 系統に変更し、IRD 副音関連および 2 系統目の音声比較関連の MIB を追加。 ・HD-SDI 時の ANC クローズドキャプションに対応し、MIB 項目 (inClosedCaption(3) / outClosedCaption(3)) の記述を変更 	2007/6/18	山田
1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・IRD 音声の記載抜け (副音系エラー TRAP の MIB) 修正 	2007/6/19	山田
1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・映像 / 音声レイ値の強制再計測に対応し、MIB 項目 (resetDelayFrame(6)) を追加 	2007/7/4	山田
1.4	<ul style="list-style-type: none"> ・外観図を追加 ・音声モードの種類を変更 ・音声モード毎の主音 / 副音の定義を記載 ・社名表記を変更 	2007/9/18	山田
1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・質量と消費電力を追加 	2007/10/26	山田
1.6	<ul style="list-style-type: none"> ・信号遅延量の仕様記述を映像 / 音声それぞれ別個に表記 	2007/12/13	山田
1.7	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク値(s)の SetGet を追加 ・ユニット設定に trap の通知設定を追加 ・起動シーケンス案) 修正 	2008/11/17	米山
1.8	<ul style="list-style-type: none"> ・音声レベルの測定範囲を 0 ~ 60 (0 dB ~ - 60 dB) に変更 ・errNotice の OID 番号を変更 (errNotice(7) errNotice(15)) ・音声無音検知設定の MIB 項目を追加 ・映像黒味検知設定の MIB 項目を追加 ・音声マスク関連の MIB 項目を追加 ・VFD メニュー関連の MIB 項目を追加 (VFD のメニュー項目全てを MIB 項目上からも設定可能とする) 	2008/12/28	山田